

トレンド推計について

1 人口推計

平成 25 年度に策定された「宝塚市一般廃棄物処理基本計画」における、人口推計は、以下の図 1 のうち放物線式を採用しています。

放物線式は、図中に示すとおり、

$$y = -60.613x^2 + 962.52x + 227,015 \quad (\text{H24 年度を } x=1 \text{ とする})$$

という数式で表されるものです。

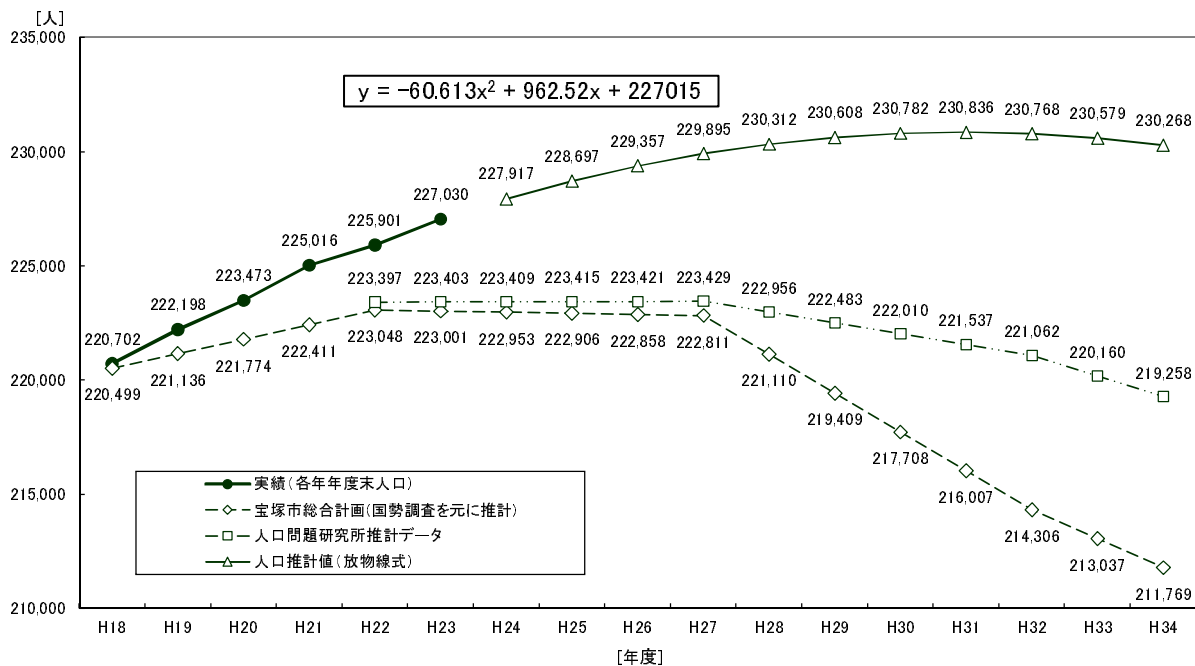


図 1 一般廃棄物処理基本計画での人口推計

この放物線式によって、平成 36 年度～平成 42 年度 ($x = 12 \sim 19$) の値を求め、推計グラフを延伸したものが、図 2 です。

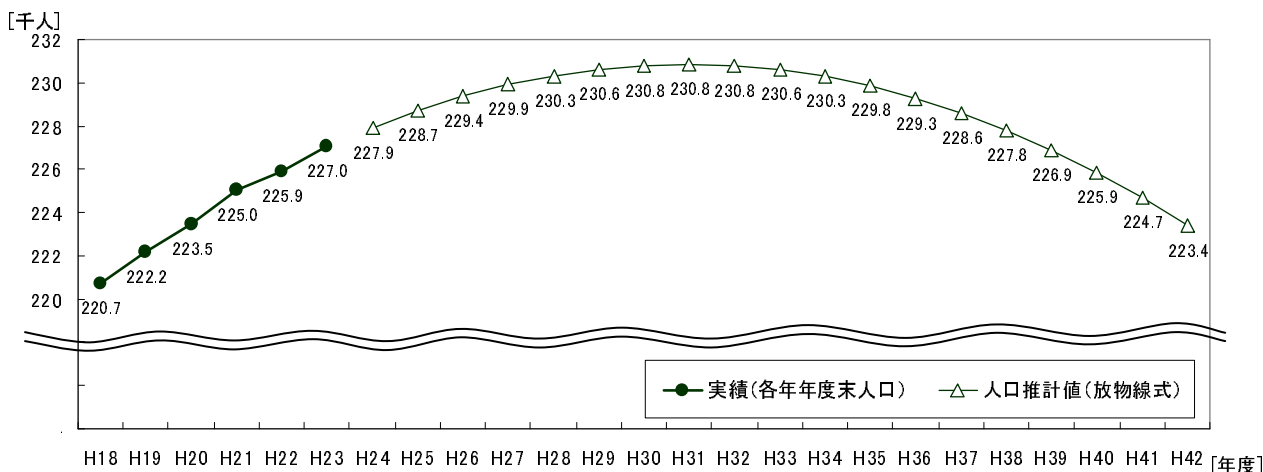


図 2 人口推計 (平成 42 年度まで延伸)

2 ごみ量推計

平成 25 年度に策定された「宝塚市一般廃棄物処理基本計画」では、1 人 1 日平均排出量についての目標が以下の通り定めています。

家庭系ごみ	平成 23 年度：571.8g/人・日 ⇒ 平成 34 年度：541.8g/人・日	※基準年度から 5%削減
事業系ごみ	平成 23 年度：267.6g/人・日 ⇒ 平成 34 年度：240.9g/人・日	※基準年度から 10%削減
資源化率	平成 23 年度：29.6% ⇒ 平成 34 年度：32.9%	※基準年度から 3.3 ポイント向上
焼却処理量	平成 23 年度：55,042t/年 ⇒ 平成 34 年度：49,318t/年	※基準年度から 10%削減

一般廃棄物処理基本計画では、これらの目標を達成する場合の 1 人 1 日当たりの平均排出量推計を、家庭系や事業系などの排出源別及びごみ種別に、平成 34 年度まで行っています。

それらの排出源別及びごみ種別のごみ量推計を、エネルギー回収推進施設の対象ごみについて合計し、各年度の人口をかけることで全体のごみ量としたものが図 3、マテリアルリサイクル推進施設の対象ごみについて同様に計算したものが図 4 です。

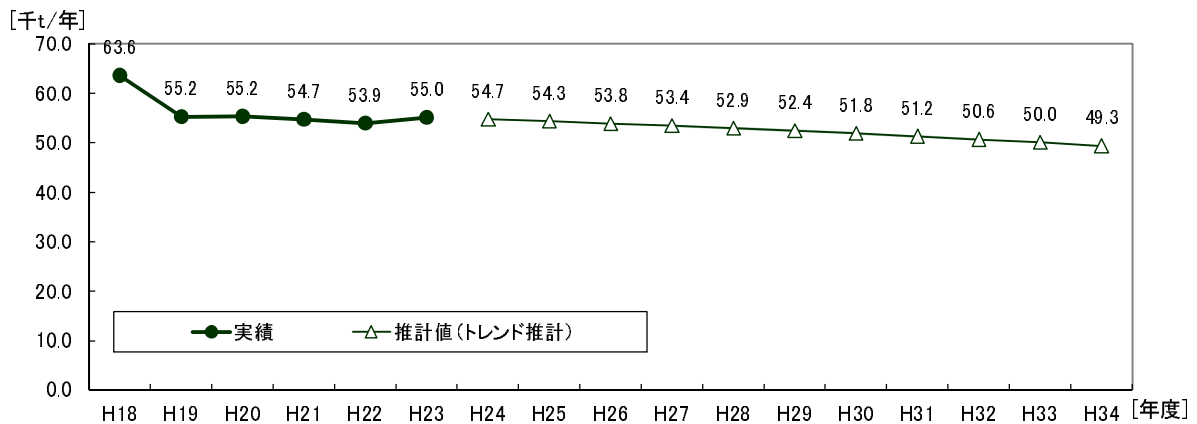


図 3 エネルギー回収推進施設対象ごみ量の推計 (平成 34 年度まで)

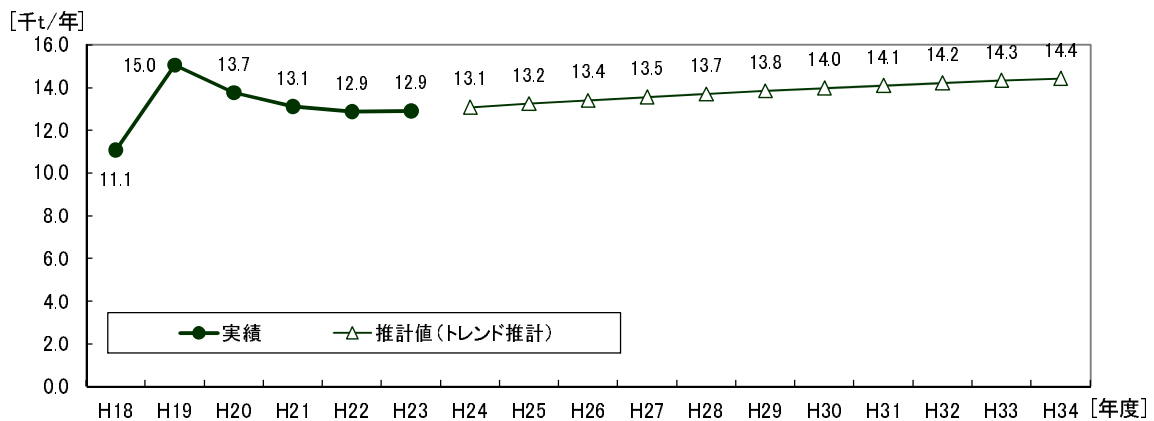


図 4 マテリアルリサイクル推進施設対象ごみ量の推計 (平成 34 年度まで)

今回のごみ処理施設整備基本構想で施設規模を算定するにあたり、一般廃棄物処理基本計画で行った排出源別及びごみ種別のごみ量推計について、平成 24 年度～平成 34 年度までの傾向が、平成 35 年度以降も継続するとしてごみ量推計を行いました。

その推計結果を用い、エネルギー回収推進施設の対象ごみについて合計し、**図 2** で求めた人口推計をかけることで全体のごみ量としたものが**図 5**、マテリアルリサイクル推進施設の対象ごみについて同様に計算したものが**図 6**です。

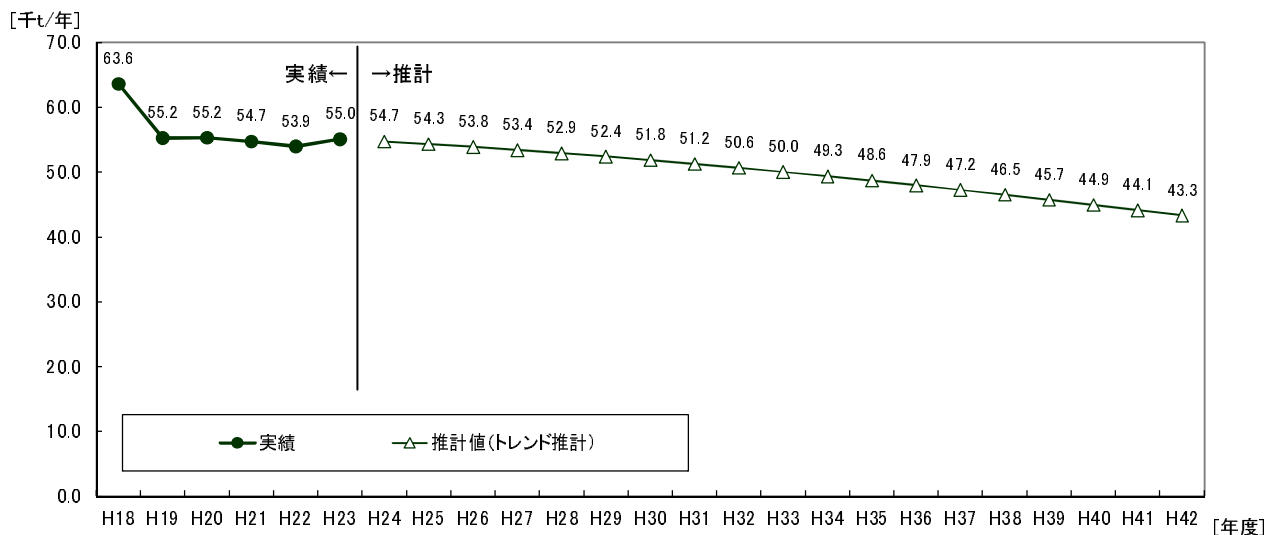


図 5 エネルギー回収推進施設対象ごみ量の推計
 (「宝塚市一般廃棄物処理基本計画」における H34 までの推計を H42 まで延伸)

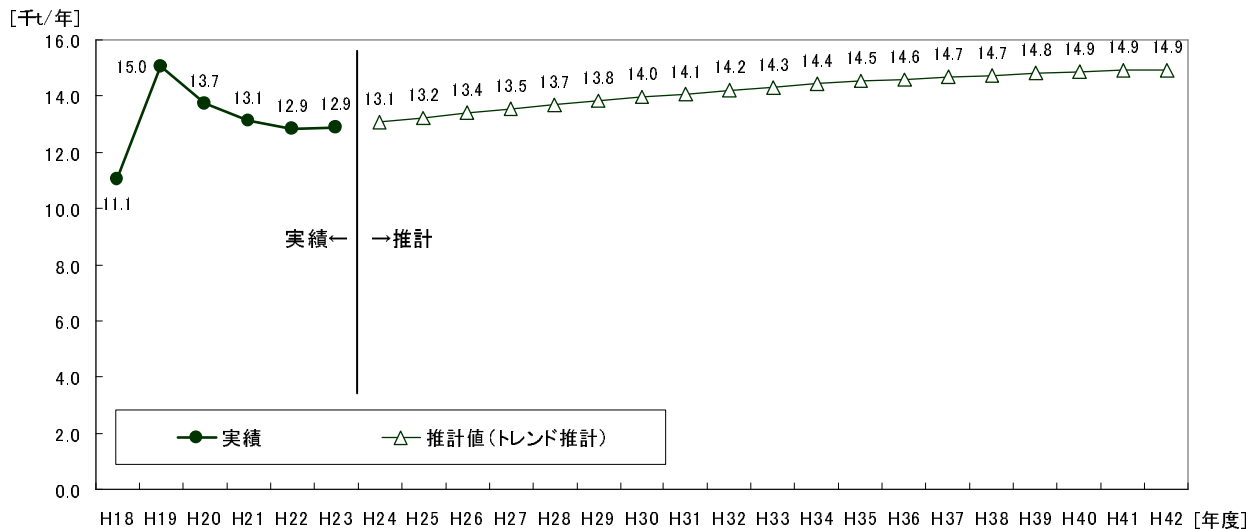


図 6 マテリアルリサイクル推進施設対象ごみ量の推計
 (「宝塚市一般廃棄物処理基本計画」における H34 までの推計を H42 まで延伸)